

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

野田さん！ あなたに私達の声は届いていますか？

9月22日、野田首相は国連の原子力安全関連の首脳級会合で演説、23日は総会で演説しました。原発に関する内容は、以下のものでした。

①日本は、福島原発事故が突き付けた挑戦を必ず克服する。原発の安全性を世界最高水準に高める。(定期検査中の原発を再稼働する意気込みの表明)

②日本は、原子力利用を模索する国々の関心に、今後ともしっかりと応えていく。(外国への原発輸出を継続する意思の表明)

野田さん！ あなたが首相就任直後、9月2日の会見で「脱原発依存」を明言し、「原発は将来的に寿命が来たら廃炉にし、新規は無い」という基本的流れの中でエネルギー問題を考える」と言ったのは建て前に過ぎなかったのですか？

野田さん！ 9月19日、東京の明治公園では全国から6万人もの人が集い、原発はもうやめてくれ！安全安心な社会を作ろう！福島を忘れるな！と衷心からの訴えをしました。あなたに私達のこの声は届いていますか？

ドイツは、2022年までに原発全廃の方針で、今、自然エネルギーへの転換を急ピッチで進め、再生可能エネルギー分野での国際的優位の確保を目指しています。スイスでも、2034年までの原発全廃政府計画を承認。本当は、過去の戦争で被爆に苦しみ現在は原発事故で苦しんでいるこの日本こそが、こうした先見性によって世界を牽引すべき立場なのではありませんか？

《脱原発を実現し、自然エネルギー中心の社会を求める全国署名》

2012. 2. 28 まで続けられます。一人でも多くの方に、広めましょう。

- ・呼びかけ団体：「さようなら原発」1000万人署名 市民の会 (Tel:03-5289-8224)
- ・呼びかけ人：内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一
澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔

[署名用紙をご希望の方は、本紙 (Tel/Fax : 042-725-2545) までご請求下さい。署名用紙は呼びかけ団体のホームページからダウンロードし、プリントアウトしても使えます。]

《 呼びかけ団体・ホームページ：<http://sayonara-nukes.org/> 》

【読者からのお便り (9月19日のこと)】

＝ありがとうございます＝

★9月19日は私も明治公園に行きました。千駄ヶ谷の駅で降りたまま、ホームに人が溢れて15分ほど身動きできない状態。こんなに多くの人が原発を止めたくて会場に向かうとしていると思うと嬉しい気持ちで、手製の反原発ウチワで扇子ながら、皆静かに集団が動き出すのを待ちました。都合でパレード途中で帰路につきましたが、原発反対のうねりを自分の目で確かめられてよかったです。スピーチは聞き取りにくかったですが、皆静かに聴いていました。その雰囲気はとても感動的でした。(相模原市・Yさん)

★駅から明治公園まで途切れない行列の中で、ここで転んだら事故になるのではないかと恐怖すら感じて、私は人波から外れた処にいました。呼びかけ人のメッセージが全然聞こえず、ステージで何が行われているのか判りませんでした。同じ気持ちで集まって来た人々への連帯感に包まれ、とても嬉しい気持ちになりました。忌野清志郎の遺影を掲げて、ギターを弾きながら渾身の力を込めて唄っている青年の傍らで、私も声を合わせました。23年前にこの歌「放射能はいらねえ、…」を作ったロック歌手の清志郎。生きていたら、ステージできっと唄ったに違いありません。青年が代わって唄っているようにも思えました。参加人数、主催者側は6万人、警視庁は2万7千人と発表。この数の違いは、何なのでしょうね？(町田市・Kさん)

★6万人の強い思いが集まり、凄く熱気。駅ホームから会場までの道は人の波で、周りから「昔を思い出す」(安保世代)とか「これで日本は変わるかも」(予備校生)という声が聞こえます。今の気持ちを半年後、1年後も持ち続けることが大事だと思いました。(小金井市・Fさん)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。